

宇宙戦略基金（第三期）の検討の進め方（案）

令和 8 年 1 月 21 日
内閣府宇宙政策委員会
(第 121 回) 資料 2-2

令和 8 年 1 月 2 1 日
内 閣 府
宇宙開発戦略推進事務局

● 検討の論点

- 「基本方針」に記載の通り、「宇宙技術戦略」を参照しつつ、JAXA が資金配分機関として民間企業・大学等が主体となることで、より効果的な技術開発の推進が図れるテーマを本事業の技術開発テーマとして設定する。
- 令和 7 年度補正予算分（第三期）については、宇宙分野の継続的な発展に向けた、民間投資や宇宙実証の加速、地域やスタートアップ等の国際競争力につながる特色ある技術の獲得・活用や産業の集積等を促進する観点から企業や大学等の技術開発・実証への支援を強化・加速するために必要な新たな技術開発テーマを設定する。
- 各技術開発テーマの設定に当たっては、事業全体の目標や KPI（例：2030 年代前半までに年間打上げ 30 件程度）との関係を明らかにしつつ、具体的な成果目標、出口目標、マイルストーン等を可能な限り定量的に設定する。
- 第一期・第二期の技術開発テーマを含め、早期の技術実証や成果最大化に向けて、JAXA において今年から本格化するステージゲート評価等を活用し、技術開発マネジメントを行うとともに、本事業の効果検証に必要なデータを積極的に収集し、各府省においても、有識者会議等も活用し、事業の進捗確認を行う。
- 各技術開発テーマの検討に当たっては、有識者会議等を活用し透明性を確保する。また、同時に、技術の急速な発展をはじめ国際競争環境の激化を受け、国際市場の獲得や国際競争力の強化等の観点から、迅速な事業開始を目指すことも極めて重要。
- 宇宙戦略基金事業が開始されてからまもなく 2 年が経過し、事業運営も安定的に実施。他方、国内外からの注目度も高く、更なる効率・効果的な事業実施に向けて政府内外の動向・議論等を踏まえる必要。
- 上記及び本日の報告等も踏まえ、内閣府において基本方針案の改定、各省において実施方針案策定の検討を進める。
- また、JAXA 及び関係府省は、本事業の進捗や成果、公募情報等について技術流出対策等の研究セキュリティ、企業秘密の保護等に配慮しつつ積極的に発信する。

● 今後のスケジュール

- 1 月 21 日 宇宙政策委員会
- 1・2 月 各省有識者会議にて実施方針案の検討
- 2 月下旬（予定） 宇宙政策委員会（基本方針改定、実施方針（第三期）の策定）
以後、速やかに J A X A において公募に向けたプロセスを開始する